



食品ロス

食品ロス

食品ロス

監修
愛知工業大学教授
小林富雄

監修
愛知工業大学教授
小林富雄

監修
愛知工業大学教授
小林富雄

1 食品ロスって
なんだろう?

2 食品ロスを
減らすには

3 食べ物を
すてない工夫



小峰書店

小峰書店

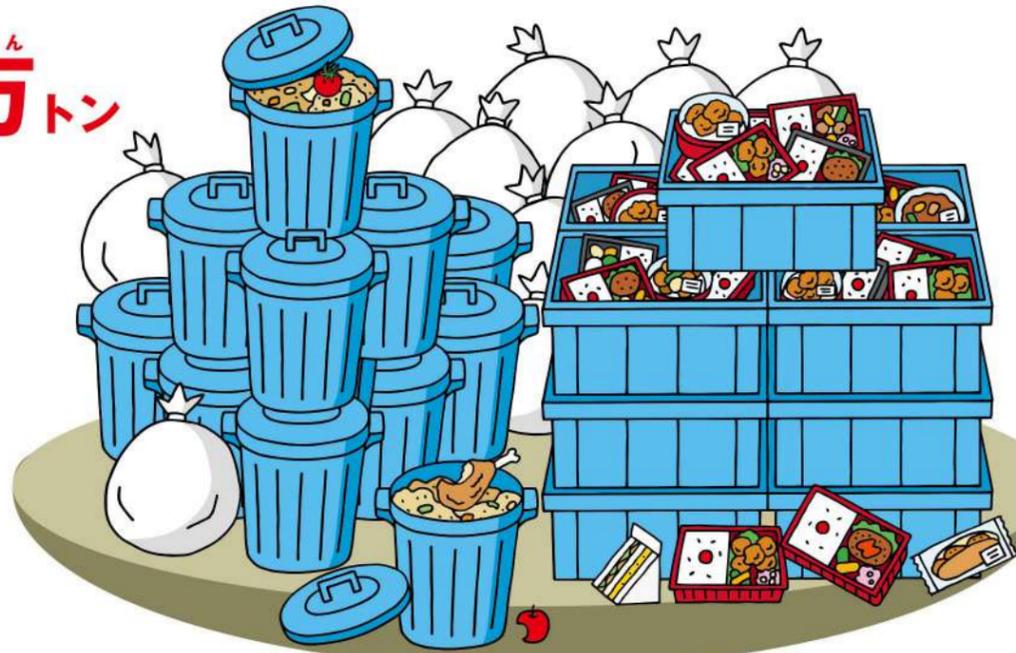
小峰書店

日本の食品ロスは 1年で643万トン

日本国内で1年間に出る食品ロス

約**643万**トン

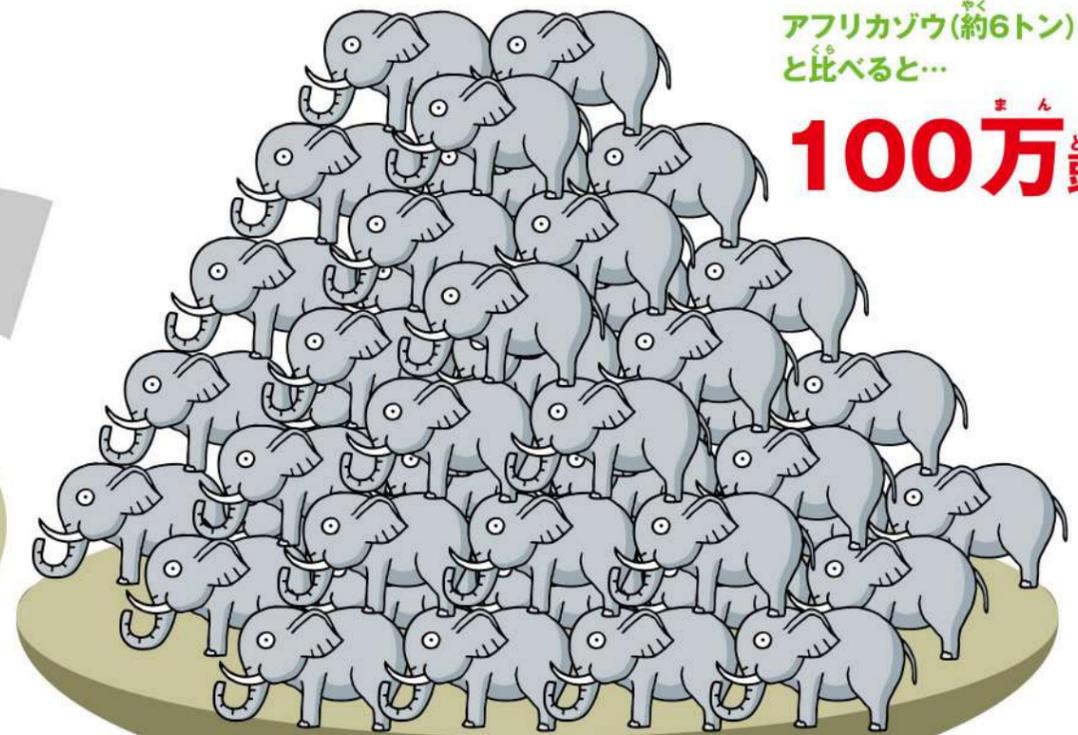
こんなに多いなんて、びっくり!



日本で2016年の1年間に出た食品ロスは、約643万トンと考えられています。陸上動物で最大のアフリカゾウの体重は約6トンなので、100万頭分以上にあたります。それほど多くの食べ物が捨てられているのです。

アフリカゾウ(約6トン)と比べると...

100万頭分以上



10歳の平均体重(男女とも)



ひとり **34kg**

1年間の食品ロスが、子ども何人分になるか、計算してみよう。(約1億9000万人分)

1けんあたりの食品ロスは

1年間の日本の食品ロスは、国民ひとりあたり約51kgの計算になります。4人家族の場合では、1年間で約200kgもの食品ロスを出していることになります。



約**200kg**
(4人家族で計算)

お金で考えると...

1つの家庭から1年間に出る食品ロスを、お金で考えると約6万円になります。また、食品を捨てるのに約5000円の費用がかかります。1年間で約6万5000円をむだにしていることになるのです。



約**6万5000円**

未来を変えるための 17の目標～SDGs

SDGsって何?

SDGsとは「持続可能な開発目標」という意味です。「持続可能」とは、みんなのしあわせな暮らしがいつまでも続くことを言います。世界中の人がしあわせな暮らしを続けていくために、2030年までに達成しなければいけない17の目標（ゴール）がSDGsです。2015年、国際連合（国連）に加盟する193のすべての国が賛成して定められました。17の大きな目標の下には、「ターゲット」と呼ばれる169の目標が決められています。



SDGsの17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさも守ろう

地球は、人類をはじめ、あらゆる生物がくらす場所。しかし、今、さまざまな問題が起こっている。



「貧困をなくすこと」「地球環境を守ること」など、未来に豊かな地球をつないでいくための17の目標が、2015年、国際連合（国連）に加盟しているすべての国の賛成によって決まりました。「ずっとこの地球で生きていけるように」——みんながしあわせで、よりよい社会をつくろうという取り組みです。

地球のための
目標なんだね。



持続可能な社会をめざす

私たち人類がこれからも地球で生きていくためには、食料やエネルギー、水などがが必要です。これまでのように、資源をどんどん使い、地球温暖化の原因になる物質を出し続けると、地球環境が損なわれてしまいます。

私たちがめざすのは、「地球環境が保全され、将来の人々が必要とするものを損なわずに開発が進む社会」です。このような社会を「持続可能な（英語でサステナブル）社会」といいます。

4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	

17の目標は関連している

SDGsには17の目標（ゴール）がありますが、忘れてならないのは、それらの目標が別々にあるのではなく、おたがいに関連しているということです。

例えば「2 飢餓をゼロに」を達成するには、食料のことだけでなく、貧困のこと、水のこと、教育のことなども考えなければなりません。また、食品をつくる会社や食品を買い、食べる消費者も関係してきます。食品ロスの問題も、さまざまな問題とつながっていることを覚えておきましょう。



SDGsのカラーホイール。17の目標をデザインした輪（ホイール）。

食品ロスを減らす

SDGsの目標

エスディージーズ SDGsの17の目標のひとつ、12「つくる責任 つかう責任」の下には、「食品ロスを減らす」という目標(ターゲット)が定められています。そのほかにも、17の目標の中には、「食品ロスを減らす」と深くかかわりのあるものがあります。

関連するSDGsの目標

エスディージーズ SDGsでは、「12 つくる責任 つかう責任」の目標で、「小売や消費での世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させる」としています。これは、店で売るときや、家庭などで使うときの食品ロスを減らすという目標です。

この目標を達成することで、「2 飢餓をゼロに」に効果があると考えられます。また、ほかの目標を達成することで、食品ロスを減らすことにも効果があると考えられます。



13 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動への対策

食料生産と関係が深い気候変化に対策を立てる。

8 働きがいも経済成長も



8 働きがいも経済成長も

小売や消費での世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させる。収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

同時の達成をめざす

食品ロスを減らすことについての直接の目標

同時の達成をめざす

2 飢餓をゼロに



2 飢餓をゼロに

飢えに苦しみ、栄養不足の人がいないようにする。持続可能な食料生産システムをつくる。

12 つくる責任 つかう責任



12 つくる責任 つかう責任

小売や消費での世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させる。収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

12 つくる責任 つかう責任



資源を持続して使えるように管理し、効率的に利用する。捨てるものを大はばに減らす。

効果がある

同時の達成をめざす

効果がある

効果がある

効果がある

4 質の高い教育をみんなに



4 知識と技能を習得する

食品や食品ロスについての知識や技能を得られるようにする。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業や技術を高めることで、食品ロスを減らす。

17 パートナリシップで目標を達成しよう



17 パートナリシップで目標を達成しよう

人や国などが協力して目標の達成をめざす。

エスディージーズ SDGsの目標は関連しているんだね。

